

### 昔の商家の帳場ちようば

(復元)

資料館では、「川湊を中心とした商工業」のコーナーで、帳場(商店などで帳付けや勘定をする所)を復元して展示しています。

この商家は、明治二十四年(一八九一)十月二十八日の濃尾大震災で建物が全焼したため、明治三十一年に新築されました。味噌溜醸造元を商いされていた建物で、百数年余り経過したものでした。三年前に取り壊された折、建具・畳・格子戸・帳場机・大福帳・算盤などを寄贈していただいたものです。

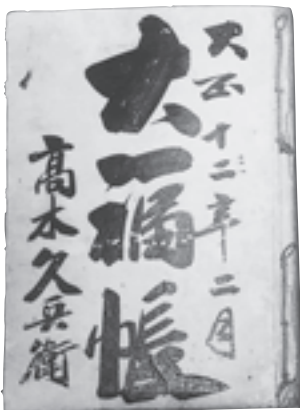
帳場机は、記帳・算盤などの事務を行うための机で、商店の奥の方や片隅に置き、一般の商いの場と分けるためのものでした。商人もここに座るようになれば一人前だったようです。

大福帳は、江戸から明治にかけて使われた商業帳簿で、すべての商いの記録を書き付けておく帳面で、本帳あるいは、元帳、大



港町の高木えず江さんのご好意により寄贈

帳ともいわれ、売掛金を全部書いたものです。記載事項は、各人名義の口座・商品名・数量・価格を売帳から転記し、代金収入は、金銭出入帳から写していました。これにより差引計算をして、顧客との取引状態が一見して分かるようになっていました。いわば今日の御得意先元帳で、主人または、一番番頭しか手が触れられない商品秘密簿であったようです。帳面は、



は、昔の商家の歴史などを知る貴重な資料となっています。

美濃紙などの和紙で、四ツ折を二十枚一綴りとして綴り合わせたものです。表紙は、板面の厚表紙に大福帳と記し、裏には、板目に店名を記しました。新調は、正月十一日の蔵開きの日に調べて帳祝いをしました。また恵比寿講にも帳簿を供えたりする年中行事があったようです。

この帳場の復元

### 行政相談 人権相談

行政相談、人権相談は自宅でも応じています。

いずれの相談も秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

行政相談	行政相談委員	加藤司郎	県町105	☎ 387・2793
人権相談	人権擁護委員	齋藤好子	中川町20	☎ 387・0812
		保母勝壽	弥生町30	☎ 387・2782
		後藤 稔	北及1183	☎ 388・1495
		杉原貴子	中野256	☎ 388・1496